

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 社会医療法人 寿量会

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17															
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		経営理念を明文化し、各所に掲示しており常に職員に共有できる状態になっている。入職時など、何か事あるごとに職員皆で共有するようにしている。									8	9										17												
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令順守の規定があり、職場の掲示板等で法令順守の重要性を全従業員に向けて発信している。4月には、新入社員に対してコンプライアンス研修を実施・啓発している。																				16												
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		仕入先等に対し、2社以上ないし、3社以上見積りを取り、公正に値引きがされているか、公正な取引を遵守しているか確認したうえで、仕入先を決定している。															10						16											
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		施設管理部門に環境を重視した取り組みを行うよう任命し、温暖化対策や省エネに取り組んだり、環境に及ぼす影響を減少させるよう努めている。																					16											
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		学術・論文等に対して担当が他社権利尊重されているのか確認、また知的財産に関する勉強会を行っている。									8.2	8.3	9																					
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報委員会を設置し、個人情報の適切な取り扱いの研修・教育を行い、個人情報保護の徹底を図る。																					16											
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		患者さんの為の投書箱を設けたり、アンケートをとることで、ご意見を聞き、対応するように努めている。サービス向上委員会を設けている。																				16	17											
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5					8		10				12	13	14	15	16	17											
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		東日本大震災を契機にH25年9月にBCPを策定し、年2回防火防災訓練を実施しており、訓練の反省を基に改定を重ねている。熊本県内から北海道まで、全国の医療機関のBCP策定援助を行っている。												9			11			13.1			16	17										
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●												8		9										17										
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●												1	2											8					12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		各種ハラスメントに関する防止措置義務を講じており、ハラスメントの防止に関する規定を設けている。また、相談窓口も設置している。				4.3	4.4	4.5	5.1	5.2	5.5	8.5	8.7	8.8										16.1	16.2	16.7								
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		安全衛生委員会を設置しており、各種相談窓口も設けている。安全衛生について、就業規則で取り決めている。また、職員のメンタル不調防止の為、年に1回、ストレスチェック制度を実施している。						3					8.8																					
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		規則改正等について労働者代表からの意見の聴取をおこなっている。食堂・更衣室・休憩室等の福利厚生施設は同一としている。							5.5			8.5																				10.2	10.3	
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		時間外労働の削減、有給休暇取得促進に組織全体で取り組んでいる。育児・介護休業規程を設け、短時間勤務制度も採用し、職員が休暇を取りやすい体制を整えている。							3			5.5			8.5	8.8																	10.3	
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		院内での研修会や講義の視聴、また外部での研修の受講など推奨しており、学びの場を提供するように心掛けている。							4	5.5			8		9																			
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		年1回の健康診断を行い、その他各種ワクチン接種の推奨、インフルエンザ予防接種に関しては無料でやっている。								3				8																		17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		障がい者の積極的な採用や、継続雇用規定による高齢者の採用など、多様な人材を積極的に採用するよう努めている。				4.4	5.1	5.5				8.5																				10.2	10.3	16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		感染症対策として、時間を決め定期的に窓開けをして換気を行っている。会議や研修もウェブを推奨しており、感染症対策は徹底している。												8		9.1			11	12														
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●														8		9.1			11	12														
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。	●		ブライト企業の認定を受けている。													8		9																	

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。特別管理産業廃棄物責任者の院長と別に、実務担当者が特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会を修了している。			3.9							11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	省エネ法の特定事業者として、省エネに取り組み、定期報告書と中長期計画書を提出しており、事業者クラス別評価制度では、Sクラスを維持している。												13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	エネルギー構成を見直し、CO ₂ 削減に取り組んでいる。温対法の温室効果ガス算定排出量等の報告書を提出している。事業活動温暖化対策計画書制度に基づく計画書を提出している。			2.4									12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	事業活動において、廃プラの使用削減に努めている。環境に配慮した材料・製品の購入に努めている。廃棄物の分別・再資源化に取り組んでいる。食用廃油を熊本いいくに発電所株式会社提供している。														14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	給与明細などのペーパーレス化で紙の使用削減に努めている。個人情報が入っていない裏紙利用の促進、ペーパータオルの使いすぎ注意を各所に掲示。							9.4					12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	すべての給水設備に節水器具を設置している。「給水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。			2.4								11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	グリーン購入法適合商品の購入推奨と、定期的に、グリーン購入法適合商品の購入率を把握。グリーン商品取り扱いがあるカテゴリーに関してはグリーン購入法適合商品を購入するように推奨している。								9.4				12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●	病院食において、残菜量を調査し、フードロスの削減に努めている。前日まで仕入れ量を徹底管理して廃棄が出ないようにしている。	1	2											12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●												11.6 11.7			13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●											9.4		11.5			13.1 13.3			
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●												9.4	11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●													11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●														12.2 12.5			14		
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4		11.2			13.1 13.3			
36	【2050年CO ₂ 排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO ₂ 排出実質ゼロを目指し、計画的にCO ₂ 削減に取り組んでいる。	●																			17.17	

